



やなぎしましょう 柳島小だより

令和7年 10月31日
茅ヶ崎市立柳島小学校
校長 赤池 理

学校教育目標 — 21世紀を担う柳島小学校の子どもたち —
豊かな心をもち、意欲的にたくましく生きる子どもの育成

10月10日に前期の終業式を行い、休日を入れて5日間の秋休みを挟み、16日には後期の始業式がありました。エアコン工事の関係で体育館が使えないため、前期の終業式は校庭で行いました。全校児童が外に集まっている光景は壮観です。そんな中、全校児童が前を向き、しっかりと話を聞いている姿からは、一人ひとりの大きな成長が伝わってきました。

秋になると農作物が美り、収穫の時期を迎えます。稲穂が黄金色に輝き、果実が甘く熟する、とてもおいしいものがいっぱいの季節となります。この時期を迎えるためには、農家の方の多くの努力が必要です。子どもたちも同じように、多くの方々の支えを受けながら成長しています。これからも家庭と学校と地域が、力を合わせて子どもたちの成長を見守っていきたくと思います。

読書を通して成長を！

秋休み中の10月15日に、茅ヶ崎市立図書館で開かれた、令和7年度「ちがさき・子ども読書フォーラム」に5年生児童2名が柳島小学校の代表として参加しました。これは、読書好きの子どもたちが集まって、お互いの意見を交換したり、各学校での取り組みなどを紹介したりして、読書のすばらしさを広げようとする会議です。当日は、「みんなで本をもちよって」というゲームを使ってお題に合うフレーズを探したり、普段は見ることができない図書館ツアーに参加したりしました。



読書は、心を豊かにしてくれます。想像力を高めたり、感じる力を磨いたり、言葉を学び、表現する力を高めたりします。子どもたちが読書の習慣を身につけ、自分の世界を広げられるように、ぜひご家庭でも、ゆっくりと本の世界にとびこめる環境を用意していただきたいと思います。

収穫の秋！

5年生は学校の田んぼで育てた米の稲刈りを行いました。自分たちでしろかき、田植え、防鳥ネット張りをして、大きく成長するのを待ちました。稲刈り当日は、普段握ったことがないであろう鎌をしっかりと持ち、クラスごとに行い、協力し、次々と束ねていきました。お米づくりの大変さを実感でき、これからはお米への見方が変わり、今まで以上に感謝していただくようになると思います。



1、2年生はサツマイモの芋掘りを行いました。一人ひとり、株の場所を教えてもらい、手で掘り進めていきました。大きく成長したサツマイモは、見えているのになかなか抜くことができません。それでも、一生懸命に掘り進めることで、とうとう収穫をすることができました。たくさんのサツマイモを手で、子どもたちは大きな歓声を上げていました。